

福音集会

初めから存在した
『命の言』

2022年3月27日(主日)
午後2時～3時

八王子に在る教会(召会)



八王子に在る教会(召会)

集会所住所:

〒192-0904

東京都八王子市子安町1-26-14
ダイワ子安ビル201

電話番号:

☎ 042-646-7333

ホームページ(URL):

<https://church-in-hachioji.com>

QRコード



聖書の御言葉

ヨハネの第一の手紙第1章1・2節:

初めから存在したものの、わたしたちが聞いたもの、わたしたちの目で見たもの、わたしたちが見つめ、またわたしたちの手で触ったもの、すなわち命の言(ことば)について
(この命が現れました。わたしたちはこの永遠の命を見たので、あなた方に証をし、また伝えています。この永遠の命は御父と共にいましたが、わたしたちに現れたのです)。

ヨハネによる福音書第1章1節:

初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。彼は初めに神と共にあった。

ヨハネによる福音書第1章14節:

そして言は肉体と成って、わたしたちの間に幕屋を張られた。わたしたちは彼の栄光を見た。それは、父からのひとり子としての栄光であって、恵みと実際に満ちていた。

ヨハネによる福音書第6章48節:

わたしは命のパンである。

ヨハネによる福音書第6章57節:

生ける父がわたしを遣わされ、わたしが父のゆえに生きているように、わたしを食べる者も、わたし のゆえに生きる。

創世記第1章26節:

それから神は言われた、「われわれのかたちに、われわれの姿にしたがって人を造ろう。そして彼らに、海魚と空の鳥と家畜と全地と地を這うすべての這うものを治めさせよう。」

創世記第2章7節:

そしてエホバ・神は土のちりで人を形づくり、その鼻の中に命の息を吹き込まれた。すると人は生きた魂となった。

ゼカリヤ書第12章1節:

イスラエルについてのエホバの言葉の託宣。天を延べ、地の基を据え、人の霊をその中に形づくられたエホバはこう告げられる。

コリント人への第一の手紙第15章45節:

そこで、「最初の人、アダムは生きた魂となった」と書かれています。最後のアダムは、命を与える 霊となったのです。

テモテへの第二の手紙第3章16節:

聖書はすべて、神の息吹かれたものであり、人を教え、戒め、矯正し、義の中で訓練するのに益があります。

使徒行伝第 16 章 31 節:

すると彼らは言った、「主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます」。

使徒行伝第 2 章 21 節:

そして、主の御名を呼び求める者はすべて救われる。

マルコによる福音書第 16 章 16 節:

信じてバプテスマされる者は救われる。しかし、信じない者は罪に定められる

1 主を賛美する — 彼に満足する

イエスはわがいのち、なが愛のゆえ、

ひと日にせんかい、御名をさげばん。

(復)イエス、さい愛の主にくらぶるものなし;

なれのえがお見て、われよろこばん。

2 いかにあすべきか、 われ知らねど、
火のごと—きあいは ころろ燃—やす。

3 イエスわがすべてぞ、 依りたの—む主、
ころろし—たうもの、 とわのち—から。

4 燃えるあいの火は にち夜つ—のり、
他のあい—すべてを 焼きつく—しぬ。

5 わがあいなるイエス、 またわが—うた;
その価値—をだれか 知るを得—んや。

6 このあい、なににも 制限を受—けじ;
主のあま—き価値は きのうにま—さる。

(人位の場合のおりかえし)

イエス、さい愛の主を、 人位とし受け入れん;
うちに生くるのは あいする—主ぞ。

2 その靈の豊満一息

主よ、なれのれいを吹き入れたまえ;

ながむねのなかにかくまいたまえ。

(復)ふるきものすべて吐き出させ、

ながゆたかすべて吸わしめよ。

- 5 やまいを吐き出し、おも荷は去りぬ;
ながいやしを吸い、へいあん満ちる。
- 6 わがねがいを吐き、ながこたえ吸う;
うたがい、おそれを、なれはしずめる。
- 7 吐くのも吸うのも みななれによる;
主よ、われをとおし、あらわれたまえ。

2 わが持てるいのち、ちからとよわさ、
吐き出すなら、ながいのちは満ちる。

3 つみのせいしつを吐き出すときに、
なが靈のほう富を、われは吸い込む。

4 なが愛のみうでにうれい吐き出し、
よろこび、なぐさめ、やすき吸い込む。

3 救いを得た確信と喜び — キリストのゆえに満足を得る

かわかぬいのちのいずみ, たずねつかれ

2 つみのあら野さまよわじ, いまいずみあり;
わがさかずき満ちあふれん, キリスト満ちぬ。

ぬ; 地のものみなわがこころ 満たすこ

3 あまくうるわしき満ぞく, 主のやすきあり;
なぐさめ増しくわわりて, しゆくふく受けぬ。

となし。(復)かわかぬいずみ 見だし,

4 きょうきゅうはとわにやまじ, めぐみによくす;
いやしのいずみにひたり, とわにいこわん。

いのちのいずみ 飲まば, はかりがたき

よろこびあり,いまいのちのいずみ飲む。

4 聖書を読む — 神の御言の機能

せい書はかみのいぶき、かみの
 霊にて息吹かれた; かみひと通
 して書かれ、かみの豊富、吸い込ませる。

- | | | |
|---|--------------------------------|---------------------------------|
| 2 | いぶきはひかりとなり、
ひとの真のひつようと、 | 神せいなひかりで照らす;
実さいのじょうたい見せる。 |
| 3 | いぶきはいのちとなり、
死人生かし、さいせいし、 | 神せいなせいしつ分与す;
更しんして、つくり変える。 |
| 4 | いぶきは知恵となって、
とわのもくてきしめし、 | 神せいな知しきもたらす;
かみのゴールへとみちびく。 |
| 5 | いぶきはちからとなり、
ちからづけ、権威あたえ、 | 神せいなちから供きゆうす;
かみの御むねじょう就する。 |
| 6 | いま、いぶき呼きゆうする、
霊をかつ用し、呼きゆうし、 | かみのしゆくふくきよう受す;
かみの豊富をきよう受する。 |

5 イエスを愛し慕う — 何という喜び

何というよろこび、なにも持たず無で、
 えいこうのなかのキリストのみ見る。
 何というよろこび、なにも持たず無で、
 主の権えきのほかなにも顧慮しない。

(全訳)

ああ、何という喜び。何も持たず、無であり、
 栄光の中の生けるキリスト以外何も見ず、
 地上で彼の権益のほか何も顧慮しないことの喜び。

6 福音 - 主につく

かなしみとやみから、わたしは来ました!

よろこびとひかりに、おお、主イエスよ!

そくばくから解かれ、やまいをもらわれ、

つみからあなたへと、主よ、来ました!

- 2 この世のろう苦から、 わたしは来ました!
 じゅう字架のすくいに、 おお、主イエスよ!
 しつ望から希ほうに、 おそれからやすきに、
 なげきからさん美に、 主よ、来ました!

- 3 たかぶり、不へいから
 まったきしゆくふくに、
 おのれからはなれて、
 つばさ張り真っすぐ、

わたしは来ました!
 おお、主イエスよ!
 あなたのあいに住み、
 主よ、来ました!

- 4 サタンの死のちから、
 いのちのめぐみへと、
 この世から分かれたれ、
 えいごうの御かおを

はなれて、来ました!
 おお、主イエスよ!
 しょうかいのなかへと、
 とわにあおぐ!

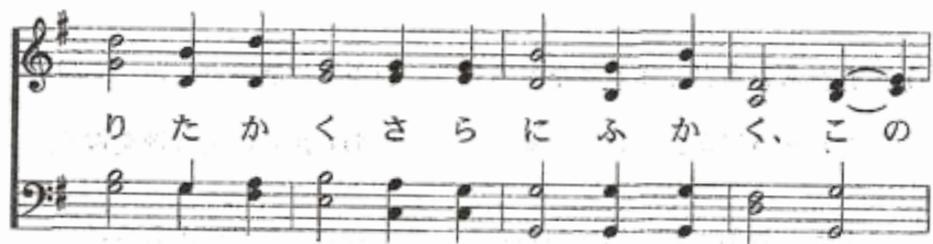
7 奉仕と福音 — こんなに偉大な救い



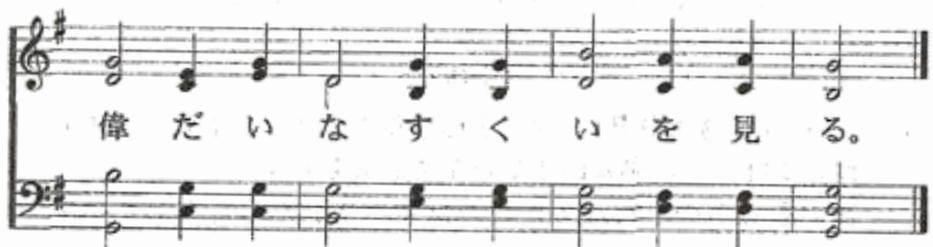
主の不思議なことば啓示す、かく



も偉大なみすくいあり。よ



りたかくさらにふかく、この



偉大なすくいを見る。

- 2 われらはみなかわをわたる、 向こうぎしなる宗教はなれて、
ふるき観念、経験をあとに、 新鮮な領いきへすすみ入る。
- 3 營所を出てキリストに行こう、 日々前進するヘブルびとよ。
エジプト出、こう海わたる、 もくてき成就のだいいっ歩。
- 4 キリストの何たるかにより、 かくも偉大なすくいあり。
キリストと御ちち、れいは、 経験し、享受し、実行するため。
- 5 かれは御座に座すひとの子、 諸しょうかいのなかをあるく。
しんじん 神人としてわれらに住む、 本しつはかみ、ひとのすがた。
- 6 われらみちびくキャプテンあり、 いま主に感動されたぐん隊。
たたかうほかみちはあらず、 主のちからにより地を取る。
- 7 たたかうのみか、主はつかえる、 大祭司としてのいのち供給す。
パンとぶどう酒もちきたりて、 戦士のためにテーブル設ける。